

どうぶつこうえんニコース



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.62

2006

冬

マレーバク



動物公園でマレーバクを見ているお客さんがよく「バクって悪い夢を食べるんだって」と言っていますが、本当に夢を食べるのでしょうか？バクは奇蹄目の仲間（ウマやサイの仲間）で草や葉っぱなどの植物は食べますが、夢は食べないと思いますが……。

なぜこんなことが言われるようになったのでしょうか？それは「バク」という名前が原因です。この名前は古代中国における想像上の生き物「貘」から名付けられました。その姿はゾウのような鼻、サイのような目、ウシのような尾、トラのような足の生き物だそうです。その奇妙な貘の姿は日光東照宮拝殿のふすま絵が有名ですが、古い神社、お寺の屋根の下に彫刻（木鼻と呼ばれる部分）にもよく彫られています。中国では夜の聖獣として崇められ、その皮を敷いて寝ると疫病や邪気を防いでくれると言われていました。それが平安時代に日本に入り、室町時代に貘を描いたり彫

ったりした枕で寝る人ができました。江戸時代になると「貘は悪い夢を食べる」と姿を描いた絵を枕に入れ寝るのが庶民の間に広まり、夢を食べるバクができあがりました。マレーバクが日本に紹介される前の話です。

また、鼻の長い奇妙な姿の白と黒のマレーバクについて他の国にも面白い話があります。東南アジアでは「マレーバクは神様が生き物を作ったとき余ったところを寄せ集めて作った動物だ」という伝説があります。タイでは「お釈迦様を乗せて、その衣がふれたのでお腹は白くなった」という伝説もありました。また20世紀初頭のヨーロッパでは「マレー半島には角のない白と黒のサイがいる」という報告をされたこともありました。

千葉市動物公園のマレーバク、ヤマト（オス）とユキミ（メス）夫妻には7月26日に6頭目のオスの子どもが誕生しました。名前を公募して「ユメタ」と名付け、元気に育っています。お母さんと一緒に展示しているユメタは、バクの子どもの特有のウリ坊模様もほとんど無くなりましたが、水浴びしたり、ユキミの後を走るかわいい姿が見られると思います。ユキミの6頭目の出産は、調べた限りでは多産の日本タイ記録です。また他園館にお嫁さんやお婿さんに行った子どもたちにも子どもができ、ユキミやヤマトはお祖母さん、お祖父さんになりました。ユキミやヤマトは希少動物であるマレーバク（野生での生息数約900頭と言われ、国内では30～35頭飼育）の飼育繁殖に大変な貢献をしています。まだまだ元気なユキミとヤマト、多産の日本新記録を目指していきたいと思います。また、息子のトムやユメタにお嫁さんを探して、早く孫の姿を見せられるようにしたいです。

濱田 昌平 (Masahira Hamada)

目次

CONTENTS

表紙【ミニブタ(ポットベリー)】	①
トピックス【マレーバク】	②
特集 子ども動物園より(7)	③
博物館実習の新たな試み	④
動物科学館紹介 夜行性動物舎	⑤
動物公園の植物⑨【ハナゾノツクバネウツギ】	⑥
動物病院から	⑥
動物公園日誌から【'06.7/1～'06.9/30】	⑦
裏表紙【コウラウン】	⑧
Information	⑧

表紙の動物説明 ミニブタ(ポットベリー)

当園で飼育しているミニブタは、ベトナムポットベリーという品種でベトナムが原産です。1960年から開発され、1986年にアメリカに導入されてからは、ペットとして広く飼育されています。ポットベリーというのは「太鼓腹」という意味で、ぼっこりと出たお腹がチャームポイントです。基本色は白色に黒色の広い模様がありますが、当園の個体は黒一色と白色の個体です。体重は、満1歳で約35kg、満2歳で約53kg、成獣になると約75kgになります。一般の来園者の方は、豚肉は食べることがあっても実物の肉用豚を見る機会が少ないので、ミニブタを見ても大きいじゃないと言われますが、ランドレーという品種は270～330kgにもなります。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

撮影：宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)

動物飼育数

平成17年10月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31.Oct.2006

哺乳類	66種	395点	両生類	1種	2点
鳥類	72種	296点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	30点	総計	145種	723点



特集



子ども動物園より(7)



「お便りコーナー」でお手紙をくれたお友達へ

子ども動物園の「飼育センター」には、お便りコーナーがあります。たくさんのお手紙、本当にありがとうございます。今回は、動物たちからのみなさんにお礼の手紙が届きましたので、ご紹介しましょう。



ハツカネズミからみなさんへ

いつもお手紙ありがとうございます。「かわいい」とか「またさわりたい」と言ってもらえてとても嬉しくなります。

でも、かわいいからといって、手の中にぎゅーっと閉じこめられるのは苦しいの。私たちは、とことこ、みんなの手の上を探検するのが大好きです。

しっぽが自慢の私たちだから、お手紙に、しっぽの絵が描かれていると感激！

みんなの手の上でも落ちないようにバランスをとったり、みんなの指にしっぽを巻きつけて体をささえたりしています。

これからも、もっともっと私たちのことをよく見て、新たな魅力を発見してね。そうしたら、また、お手紙下さい。待ってます。



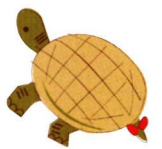
ゾウガメ長老からみなさんへ

お手紙読むのは楽しいねえ。ありがとうよ。みんなワシの大きさにびっくりしておるようじゃのう。

実は、ワシは200キロを超える体重があるのじゃが、みんなは何キロかのう？。あんまり重いので歩くのも一苦労じゃが、いったんあそこへ行こう、と決めて歩き始めたら、そりゃあ、誰にも止められんわい。ずんずん歩いていくぞ。

それから、どうもお手紙によると、いっしょにいる「ケツメリクガメ」くんたちと親子にまちがえているらしいが、ワシらとは違う仲間じゃ。覚えておいておくれ。

ところで、わしは寒いのが大の苦手な、寒いと動けなくなるんじゃよ。冬はそういうわけで、あったかいフロアヒーティングがある部屋にすることがほとんどになる。大きな窓から見ておくれ。うたたねしてるわしが見えたら、また手紙を書いてポストにいれておいておくれ。じっくりと読むことにしよう。



ウサギからみなさんへ

いつもたくさんのお友達から「ウサギさんはかわいくて大好き！」というお手紙をもらいます。とっても嬉しい。

私たちが、大きなゾウさんや、ゴリラさんに負けないくらい好かれているんだなあ、と、びっくりしています。



もっともっと私たちのことを知ってもらって、みなさんと仲良しになりたいので、こんどお手紙を書いてくれるときは、私たちにたくさん質問して下さいね。

ヘビからみなさんへ

けっこう私のこと、気に入られているようで、意外です。だいたい、私の前に来たお客さんは、「きゃー」とか「やだー」といって、あんまり見てくれないので、ときどき私のイラスト入りのお便りをもらえて感激しています。

イラストのほとんどは、舌をペロペロしているところを描いてくれているけれど、口をとじたまま、舌を出したりひっこめたりするのが、おもしろいみたいね。

私にとって、舌はほんとにだいじなところ。べつに、こわがらせようとしているんじゃないくて、舌は目や鼻のかわりなの。獲物がどこにいるか、敵はいないか、いつもまわりのようすをうかがうのに、使っています。

こんどはじっくり見てみてね。そして、ヘビ嫌いの人がいたら、みんなのじょうずなイラストで、どんなところが魅力かその人に教えてあげてね。じゃあ、また。



博物館実習の新たな試み



博物館で資料の収集、保管、展示および調査研究などに携わる専門職員を学芸員といいます。

学芸員になるためには、国家試験を受けるか、大学での学芸員課程を履修しなければなりません。そしてその単位のひとつとして博物館実習があります。

本来博物館（美術館など）での実習ですが、博物館類似施設としての動物園や水族館などで実習を行う学生もいます。

当園でも、実習生を受け入れてきましたが、実習内容は飼育実習でした。実際、動物の世話ができてくる学生も多いのです。

今年度は、学芸員の实習という考えの下、内容を見直し、実習期間を大きく2つに分け、グループで実習をしてもらうこととしました。

また、我々職員とは違った動物園の見方をしてほしく、実習期間を通して、職員の関与は助言する程度にとどめ、自主性を重視した実習としました。

実習生は、動物に関係のある大学、関係のない大学などいろいろな大学からやってきます。

そこで前期は、動物園を知ってもらうための講義からはじめ、数日の飼育業務と園内見学を経て、当園の概要をつかんでもらい、同時に実習生自身で実習のテーマをみつけてもらいました。

後期は、前期で決めたテーマに即した課題を、やはり実習生自身で選定、作成し、最終日に職員や来園者を前に発表し、実習の成果を感じてもらいました。

今年度は、2グループ5名の学生が実習しました。

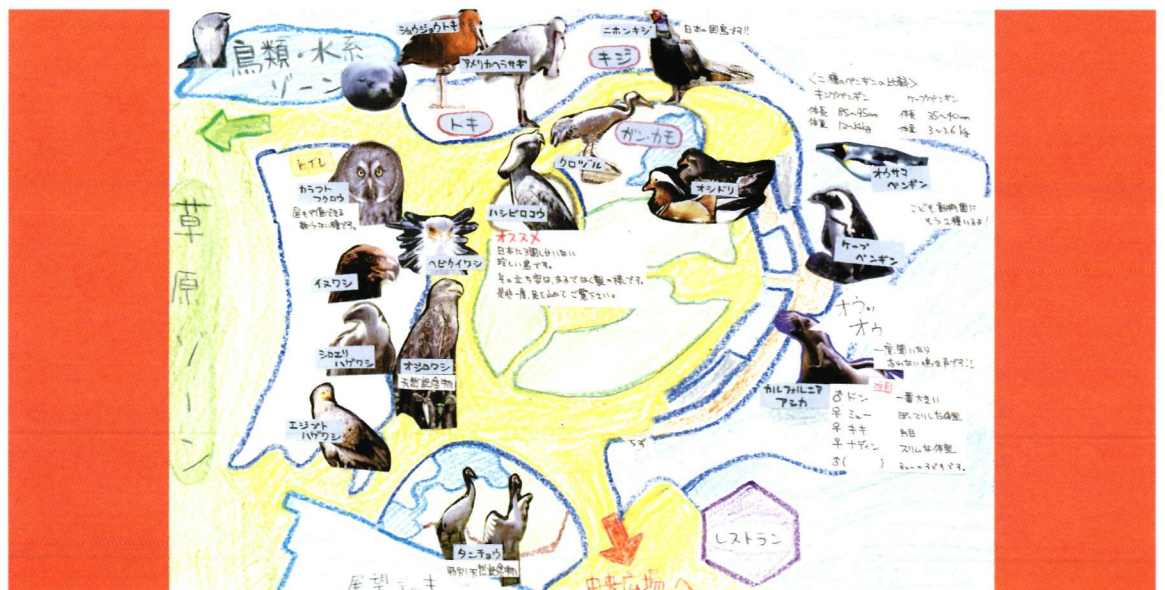
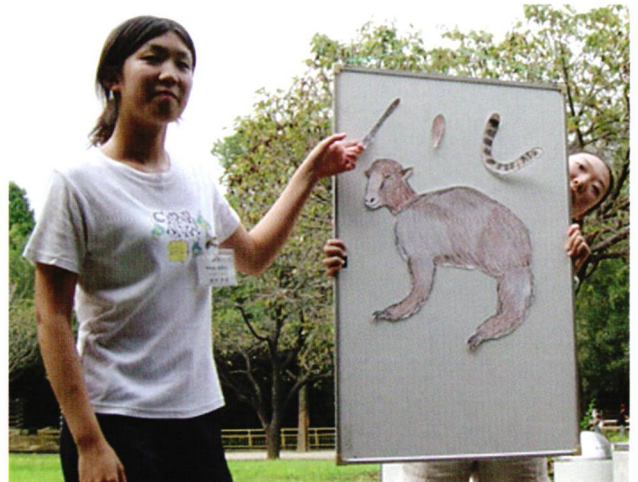
Aグループは、動物についてのコメントや見どころなどが書かれた手作り感いっぱい案内マップを作成し、Bグループは、小道具を使ったクイズ形式の動物解説に挑戦しました。

両グループとも飼育担当者の言葉を上手く取り入れ、来園者が興味を持てるように工夫されており、職員にも好評でした。

実習生の感想も、戸惑いはあったものの、学芸員の疑似体験ができたこと、また課題をゼロから自分たちで作り上げたことでの達成感や満足感を感じてもらえたようです。

短期間でできあがった課題をみて、私も頑張らねばと思わされる実習でもありました。

飼育第一係 伴野 修一 (Shuichi Banno)



動物科学館紹介 夜行性動物舎

今回は動物科学館1階の夜行性動物のことをご紹介します。
科学館に入って左のバードホールを通過した先が、今回ご紹介する夜行性動物舎です。

夜行性動物の活動(昼と夜の行動学)

たいていの動物は24時間を周期として活動しており、その行動パターンは明るさによって支配されています。昼行性動物は、明るくなると活動し、夜になると巣の中に入って眠ります。夜行性動物はこれと逆で、あたりが薄暗くなると活動を始めます。また、肉食類に多い昼夜行性動物は寝る時間がごく短く、何回も眠るので昼夜に関係なく活動と休息を繰り返します。

夜行性動物の眼

眼の構造をカメラにたとえると、虹彩・水晶体・網膜はそれぞれ絞り・レンズ・フィルムにあたります。夜行性動物の眼は夜間活動するために、光を感知するしくみが私たち人間と異なっています。第一に水晶体が大きく、そのため網膜に到達する光の量が多くなり、また眼の内側には光を反射する膜があるため、暗闇でもよく見えるのです。ネコの眼がひかって見えるのも、この反射膜のためです。

夜行性動物舎について

完全夜行性動物であるネズミを昼と夜を逆転させた動物舎に入れると、最初は今までと変わらない活動パターンを示しますが、数日後には電球を使用した人工的な光の世界に順応するようになります。日を追って日中の人工的な夜間に活動を始め、やがて完全に人工的な昼と夜に順応するようになります。夜行性動物舎は、このような習性を利用し、みなさんが観察しやすいように昼夜を逆転してあり、動物たちの夜の状態をご覧いただいております。夜行性動物舎が夜になる開園直後か、朝になる直前の午後3時ごろが特に動物たちが活動していて見どころです。

夜行性動物舎の動物

すべての夜行性動物舎の動物をご紹介できませんが、人気のある動物をご紹介します。

ミナミコアリクイ

南アメリカ北部・東部に住む、貧歯目(ひんしもく)の仲間で前足には、3本の長いつめがあります。

ミナミコアリクイは体毛の違いから、13の亜種に分けられています。



ショウガラゴ

アフリカに住む小さなサルでロリス科に属しています。体長の10倍位ジャンプできるすばしっこいサルで、夜行性動物特有の顔の割に大きなクリクリとした丸い目と大きめの耳が特徴です。



スローロリス

文字通り、ゆっくり動くロリス科のサルです。その動きを道化役者(オランダ語でロリス)にたとえたのが名前の由来ですが、逃げる時やエサを摂る時は^{びんしょう}敏捷に動きます。



宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)



動物公園の植物…②⑨

The plants in the Zoological park

ハナゾノツクバネウツギ

(*Abelia xgrandiflora*)



別名アベリア、ハナツクバネウツギ、中国原産のシナツクバネウツギとユニフローラを交配させて出来た樹木で大正時代の末期に日本へ渡来しました。常緑～半落葉低木で高さ1～2mになります。成長は著しく早く、枝は赤みをおびて沢山です。公園や庭園また、花材等に広く使用されています。当園では、8,500株植えてあり、大部分が寄植えにしています。花は5月～11月まで長い期間咲き、葉は小さく群生しており、花はユリの極小さくした形に似て、白色の花がまとまって咲き、甘い香りが少しします。刈込みは強く刈込んでも丈夫で耐えます。このようなことから、玉刈込みや動物の形で刈込むトピアリーに使用することもあり、比較的容易に思った形にできる樹木です。移植も容易ですが放置すれば四方八方に枝が伸び、けっこう暴れますので手入れは欠かせません。最低年2回は刈込んであげると良いでしょう。植栽されている範囲は、東北地方南部以南の本州、四国、九州にまたがります。

この木は公園や庭園の主木（主役）にはなれませんが、役者で言うところの名脇役だと思います。

染谷 正仁 (Masahito Someya)



動物病院から

はじめまして！

みなさん、はじめまして！私は今年の3月に大学を卒業し、4月に千葉市動物公園に配属になったばかりの新人獣医師です。現在の診療担当は子ども動物園とレッサーパンダ。先日、風太とチチの間に生まれた双子の子どもたちも、担当させてもらっています。

獣医師になるためには大学に6年間通って獣医学を勉強するのですが、大学で学ぶ対象はイヌやネコ、ウシやニワトリなどの家畜のみ。動物園で飼育しているさまざまな野生動物については、働きながら自分自身で勉強していくしかありません。現在は一日も早く一人前の動物園獣医師になれるよう、先輩獣医師や飼育職員の方々に教わったり、教科書とにらめっこしたりの毎日です。

動物公園で働きはじめてもう半年。仕事をしていて、消えようとしている命を前にしながら、何もしてやれない無力感を感じることもあります。しかし反対に、治療がうまくいって元気になったり、新しい生命が生まれたりしたときには、獣医師として、このうえない喜びを感じます。

私はいつも、診療カバンを持って園内を巡回しています。ご来園の際に姿を見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね！

中山 奈美 (Nami Nakayama)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'06年7月1日~'06年9月30日



- 7月3日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:625g、雌:740g）、目が開いている
- 7月4日 カリフォルニアアシカ（仔）、体重測定 9kg
- 7月6日 ワオキツネザル（雌1）、搬出（名古屋東山動物園）
- 7月9日 フンボルトペンギン（雛）、自力採食確認
- 7月15日 スローロリス（雄2）、検疫明け
- 7月17日 ヒゲゴシキドリ、巣箱にドラミングする
オランウータン、フトシとナナ日中じゃれあう ナナ、消防ホースをよく使うようになる
- 7月18日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:860g、雌:980g）
- 7月19日 アビシニアコロプス（キクウ）、検疫明け
- 7月21日 リス類、体重測定（ニホンリス（雄:275g）、ミケリス（雄:585g、雌:495g））
- 7月24日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:980g、雌:1,030g）、四肢黒く力強くなり、体は茶色が濃くなってきている
アジアゾウ（雄）、放飼場で左牙を折ってしまう



- 7月26日 サマースクール（7月28日まで）
マレーバク 繁殖
- 7月27日 マレーバク（仔）、26日18時15分に起立する 20時15分に授乳確認
- 7月28日 トナカイ（雌）、朝起立不能になっている 朝夕に治療（補液等）を行う
カリフォルニアアシカ（仔）、朝タブルで泳ぐ
トナカイ（雌）、少し元気になってきている
- 7月30日 トナカイ、出産 人工保育を始める
- 7月31日 トナカイ、搬出
- 8月1日 レッサーパンダ（仔）体重測定（雄:1,090g、雌:1,130g）
- 8月3日 トナカイ（仔）、死亡
- 8月4日 カオムラサキラングール、観客のタオルを引き込む
トナカイ（雌）、自力で立ち上がる
ニホンリス（雌2）、検疫明け
- 8月5日 トナカイ（雌）、朝より自力で立っている
- 8月6日 ゴリラ、モモコ親子とモンタの放飼場周の扉をオープンにして放飼する
マレーバク（仔）、体重測定（16.2kg）
- 8月7日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:1,180g、雌:1,280g）
ニホンリス（新雌）、リス舎に放飼
オオカンガルー（No.47）、左後肢爪の腫れのため、捕獲治療
- 8月8日 マレーバク（仔）、体重測定（17.5kg）
シマウマ類、腰麻痺予防薬投与
- 8月9日 ワオキツネザル（雌1）、搬出（池田動物園）
- 8月10日 レッサーパンダ（仔（雄））、巣箱の外で動き回っていた
- 8月12日 ヘビクイワシ（雛）、1羽、巣の上で立ち上がる



- 8月14日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:1,340g、雌:1,450g）、尾にまだ縞はなく、歩行もおぼつかない
アビシニアコロプス（キクウ）、No.18ほかの個体とのトラブルで顔面裂傷、手術する
- 8月15日 ケープペンギン（雛）、体重測定（2,300g）
- 8月16日 ゴリラ（モモタロウ）、体重（70.5kg）
- 8月17日 カリフォルニアアシカ（雄、雌（ミュウ））、朝より寄り添って泳いだり、交尾様の行動をする
- 8月18日 ホンドザル、数頭池に入る
- 8月20日 ルリコンゴウインコ、ベニコンゴウインコ、インコ舎より病院馴化施設に移動
- 8月21日 ゴリラ、放飼場周の扉をオープンにし、モモコとモモタロウが離れたときに扉を閉め2頭を分離 モモコは時々なき、心配している様子
モモタロウは落ち着いている その後扉をオープンにする
レッサーパンダ（仔2頭）、放飼場に出て、よく動き回る
キンカジョウ（雌）、搬出（上野動物園）
Zooキッズデー開催
- 8月26日 レッサーパンダ、マスコミに事前公開
- 8月28日 スズガモ（雄1、雌2）、シチメンチョウ（雌）、新着
- 8月29日 フタユビナマケモノ（No.2）、爪切りを行う
- 9月1日 レッサーパンダ（仔）、一般公開開始 雄（風太）はインコ舎へ移動
- 9月3日 マンドリル、ペットボトルに餌を入れて与える 2時間以上それで時間をつぶす
ボランティア説明会 開催
- 9月4日 ゴリラ、モモコとモモタロウを放飼場A、Bを使い分ける訓練を行うが、モモコが警戒し扉のところに座ってしまったのでうまくいかなかった
- 9月5日 レッサーパンダ（仔）、体重測定（雄:1,710g、雌:1,870g）
- 9月6日 マンドリルとフサオマキザルの室内に小麦を入れ、穴を開けた竹筒を設置する
ボランティア説明会 開催
- 9月7日 アビシニアコロプス（キクウ）、雄が自己主張すると大人雌に追われる
- 9月10日 ワンポイントウォッチング（ゴリラ）
- 9月12日 カオムラサキラングール、繁殖 親が仔に興味を示さず娘がずっと抱いているため、取り上げ人工にする
- 9月13日 カオムラサキラングール（仔）、人工哺乳5回
オオカンガルー、繁殖
- 9月14日 ゴリラ、モモコ親子とモンタの放飼場周の扉をオープンにして放飼する
- 9月15日 エリマキキツネザル、交尾
カオムラサキラングール（仔）、4時間間隔で4回／日哺乳
- 9月17日 レッサーパンダ（雄仔）、リンゴを食べようとしていた
- 9月19日 レッサーパンダ（親子）、インコ舎へ移動
- 9月23日 折り紙教室開催
- 9月24日 ワンポイントウォッチング（マーマセット）
- 9月25日 モモコ親子、放飼場A、Bを使い親子を分ける モモコは気にしているがモモタロウはケロッとしている
浅野 洋之（Hiroyuki Asano）

編集後記

当動物公園では、レッサーパンダの親子が9月に一般公開され、大変にぎわっています。かわいい子どもの姿を見ようと大勢の来園者がみえ、今年もレッサーパンダが主役で終わろうとしています。また、子どもの名前がオス「ユウタ」、メス「風花」に決定しました。よろしくをお願いします。

なお、次回の発行予定は平成19年3月1日です。

名和 全孝（Zenkou Nawa）



コウラウン



Information

平成18年12月・平成19年1月・2月の 催し物一覧

- ★ 12月 9日(土) Zooキッズデー
- ★ 12月 10日(日) ワンポイントウォッチング(トナカイ)
- ★ 12月 17日(日) クリスマスシアター
- ★ 1月 2日(月)・3日(火) 新春お年玉プレゼント
- ★ 2月 4日(日) バードウォッチング
- ★ 2月 11日(日) クイズラリー

どうぶつこうえんニュース第62号
平成18年12月1日発行

編集
発行

千葉市動物公園・財千葉市動物公園協会〔総合案内〕 ☎ 043-252-1111
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-City Japan.